うなばら

発行：五十嵐小学校
新潟市西区寺尾西4-23-1（〒950-2064）
Tel.025-269-3117㈹　Fax.025-269-3118
E-mail : e710ikarashi@city-niigata.ed.jp
http://www.ikarashi-e.city-niigata.ed.jp/

「認める」ことで「自己有用感」を

校　長　　諸橋　智

令和４年度，202 日の授業日を終えます。創立 50 周年記念式典や CS 共催全校縦割り遠足等に取り組み，ポストコロナ時代へ新しい教育活動の転換を図った年でした。この転換を支えるため，学校は失敗であっても成功であっても子ども自身が考え行ったことを「認める」よう取り組んできました。

国立教育政策研究所　生徒指導リーフ Leaf. 18 の中に次のような記述があります。

> 「自己有用感」は，他人の役に立った，人から感謝された，人から認められたという感情で，自分と他者（集団や社会）との関係を自他ともに肯定的に受け入れられることで生まれる，自己に対する肯定的な評価・・・「褒めて（自信を持たせて）育てる」という発想よりも，「認められて（自信を持って）育つ」という発想の方が，子供の自信が持続しやすい。

「認める」は，ただ「褒める」とは違い，子どもの言葉を受け止め自律を促し，自己肯定感を高めることに繋がります。

この取組の結果，新潟市生活・学習意識調査において，課題解決意欲やアウトプット，他者との関わり等多くの項目で向上が見られ，市平均を上回るものも見られるようになりました。また，「自分にはよいところがあるか」という質問でも向上が見られました。さらには，６年生対象の文部科学省「全国学力学習状況調査」の結果では「自己有用感」の著しい向上が見られました。（第５回ＰＴＡ総務委員会便り参照）

締めくくりの春，ある６年生がメッセージカードを持って校長室にやって来ました。感謝する人にメッセージを渡すという学習の一環で，次のようなものでした。

五十嵐小学校のいいところ Book

「海がキレイに見える」「元気なあいさつ」「授業が分かりやすい」<u>「思いやりであふれている」</u>「校内がキレイ」「四季がとても分かる」「楽しい」…３１５０（サイコー）

中でも「思いやりであふれている」の内容はこう続きます。

「みんなで支え合い助け合い学びと真剣に向き合える人がたーくさんいます。」

母校への愛着と感じられるこれらの言葉は，小学校での日々を振り返り，自分自身や自分と友達の関わりの中で成し遂げてきたことへの満足感・充実感を言い表したものです。周りの友達や教職員という視点も含めて表現されており，まさに「自分と他者（集団や社会）との関係を自他ともに肯定的に受け入れられることで生まれる，自己に対する肯定的な評価」に繋がっています。自己有用感が育まれた結果の自己肯定感とともに学校を誇りに思う心が着実に育っていると実感します。

これからも，子どもたち一人一人を「認める」五十嵐小学校で在り続けたいと，決意を新たにするところです。

新潟日報社，新潟教育公務員弘済会主催　「特色ある教育実践」応募論文で「優良賞」をいただきました。
これからも地域・保護者の皆様と共に子どもたちの「生きる力」を育みます。